



No.89

さいばい ニュース

(財) 神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237
神奈川県三浦市三崎町
城ヶ島養老子
☎ 046(882)6980
FAX 046(881)2233



大きく育って、と放流



泳いでいる、稚魚をじっと見る

平成二十二年度の「かながわ豊かな海づくり」は、七月二十四日、横浜市金沢区の海の公園で開

かながわ豊かな海づくりでは…… マダイ種苗千尾を放流

催されました。小さな子どもも参加し、マダイの稚魚千尾を放流しました。参加した子どもたちは、

アナゴなどの入っているタッパングプールで種苗放流は、神奈川県米山健水産課長が「マダイ稚魚の放流を通じ、東京湾の水産資源の回復への理解を深め下さい」とあいさつして始まり



三浦市沖でマダイ種苗を放流

今年の県下各地での種苗放流 マダイ・クロダイ・ヒラメなど

今年も六月以降、神奈川県下各地で水産種苗の放流が盛んに行なわれています。六月十五日には茅ヶ崎漁港、十六日には平塚漁港でヒラメ種苗の放流イベントが行われました。二十四日には横浜・金沢漁港まつりが行われ、メバルとカサゴ種苗が放流されました。

七月二十四日には横浜・金沢海の公園での「かながわ豊かな海づくり」でマダイ種苗、二十五日には横須賀・海辺つり公園での青少年・少女釣り大会でカサゴ種苗が放流されました。三十一日には第五回「三浦・海フェスティバル2010」が開催され、「稚魚放流体験」で協会が生産したマ

ダイ種苗五千尾が三浦市沖に放流されました。八月一日の小田原みなとまつり、八日の三浦市・金田湾放流イベントで、マダイ種苗が放流されました。二十一日には横浜・本牧釣り施設でマダイ種苗を放流し、九月には同公園でクロダイ種苗を放流する予定になっています。



相模湾にマダイ種苗を放流

この後は、東京湾の三浦市・松輪沖、横須賀市・横濱市沖にかけ35万尾のマダイ種苗を放流します。松輪沖に放流する二万尾には



子どもがカサゴの稚魚を放流

協会は今年初めてカサゴ種苗を八千尾生産しました。カサゴ種苗を生産する施設が十分でなく、まとまった数の生産はできませんでしたが、種苗生産のメドは立ちました。今回生産したカサゴ種苗のうち二千尾は、七月二十五日に横須賀市の釣り公園で行われた青少年・少女釣り大会で、参加した児童が放流しました。この大会では釣りの対象にしている一つがカサゴでしたので、子どもたちは「大きく戻ってきてね」と声を掛けながら放流していました。また、八月に全国豊かな海づくり推進協会は三千尾に、標識(ヒレを一本カットしました)を付け、横須賀市・猿島付近の海に放流しました。カサゴが海の中でどのように生活しているか、まだ不明な点がいっぱいあるそうので、資源の動向調査のための放流です。カサゴは人気のある魚で、遊漁船などもこの魚を対象として出船することがあり、資源の増大が期待されており、協会と

全国豊かな海づくり推進協会が推進する栽培漁業資源回復対策事業に参画し協会は今年も二万尾のマダイ稚魚に標識を付け、三浦市・松輪沖に放流することになりました。昨年の東京湾での放流に続き今年が二回目です。この事業は、海域環境に合った栽培漁業を推進しようとして、昨年、新規海域として都市近郊の東京湾という「閉鎖」海域で

三浦市松輪沖に今年も二万尾に標識を付けてマダイ種苗を放流

放流効果を確認するために二万尾のマダイ種苗に標識を付けて放流しました。これまでに二百五尾が再捕されたという報告がきています。

今年も協会の職員が三浦市・小網代湾で飼育中の体長七、八センチに育ったマダイ稚魚に標識を付ける作業を行い、九月には放流することになります。が、県域を越えて栽培漁業の持続的な展開を目指すこととなります。

シマノが種苗放流のためにと100万円を寄付 これまで1,100万円を超す支援

釣具の大手メーカーシマノが、マダイ種苗放流に役立てて、と今年七月に百万円を寄付してくれました。事業費の計上に苦勞している協会にとり貴重な寄付になりました。同社が、創立八十周年を記念し、自然への感謝と地域社会貢献活動の一環として三百二十万円を寄付してくれました。協会は全国に先駆け、「マダイ遊漁者協力金制度」をスタートさせた年、それを支援しようと寄付を始めた。以後も寄付を続けてくれ、今年でその総額は千百万円を超えました。

同社は、釣りを通じて自然から恩恵を受けているとし、協会だけでなく各地で種苗放流を資金的に支えています。それとともに、同社は一丸となり水辺の環境保全のための活動に取り組んでいる会社として高い評価を得ています。

潮騒

マダイの栽培漁業は、神奈川県が「モデル県」といわれるほど、種苗生産、放流の実績を持っています。そして特にこれまで神奈川県は、マダイ釣りを楽しむ遊漁者を多く受け入れてきました。それだけにマダイ資源の回復への期待は大きいものがあります。

高橋・小田原市漁協組合長が県民功労賞受賞



祝賀会で高橋組合長に記念品を贈る

七月十三日、祝賀会開かれる

神奈川県漁連の会長でもある小田原市漁協の高橋征人組合長は、漁業経営の安定化に尽力したとして、平成二十二年度神奈川県民功労者として表彰されました。...



営業を始めた食堂「ぎよれん市場」

神奈川県漁連は、県下で獲れる魚介類の「アンテナショップ」になれば、と横浜市金沢区富岡東の漁連敷地内に、漁民食堂ともいえる「ぎよれん市場」をオープンしました。...

漁民食堂「ぎよれん市場」

横浜・金沢区にオープン

神奈川県漁連は、県下で獲れる魚介類の「アンテナショップ」になれば、と横浜市金沢区富岡東の漁連敷地内に、漁民食堂ともいえる「ぎよれん市場」をオープンしました。...

神奈川県漁連の会長でもある小田原市漁協の高橋征人組合長は、漁業経営の安定化に尽力したとして、平成二十二年度神奈川県民功労者として表彰されました。...



網締めし魚を水揚げ

相模湾の四季の魚

親子料理教室

真鶴町で定置網干物づくり体験

県民が漁業の生産現場の見学や体験漁業に参加することにより、地場産水産物や県内漁業への理解を深めてもらい、地産地消につなげることを目的に、八月十九日、平成二十二年度第二回「相模湾の四季の魚・親子料理教室」が開催されました。...

水産海洋学会、小田原市、(財)相模湾水産振興事業団が共催する第三十四回「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウムは「相模湾の海洋環境・生態系と温暖化現象の関わり」をテーマに、十月十九日午前九時三十分から午後二時三十分まで、神奈川県西湘総合センターで開催されます。...

髭は二つのコップに並々とビールを注ぐと、一つを僕に渡し「そいじゃ改めてお礼を言います。それと今晚はよくお出で下さった。ありがたう」と言いつつ、僕のコップに軽く触れると、グツと一息に飲み干すのです。...

さてそのGさんですが、昭和二十六年都内の某私立大学を卒業したものの、敗戦間もない日本は就職難で、無名私大を出たくらいでは、マトモな働き口を探すのは大変だったらしいです。...

髭は「この場所は涼しくて、景色も抜群。我が家の特等席です」と自慢するうちに、目の下にビクトリア港とビクトリアの町並みが見渡され、その先には印度洋が広がっています。...

東京生まれの東京育ち 飲むほどに、酔うほどに、髭のオッサン、仮にGさんとでもしますかー Gさんは、言葉も態度も砕けてきて、巻き舌の東京弁で語り始めました。...

「そんなにか可笑しいこと言うたか？」と一寸鼻白んでいたところ、「いやいや失礼。ご免なさい。私しゃねえ、日本生まれの日本育ち、幼稚園から大学までずっと日本。生まれ故郷は東京で、元日本人なんだよ」...

「元日本人？、何のこっちゃー」そこでその《元》の意味を訊ねてみますと、こう言う返事が返ってきたんです。...

まぐろ千夜一夜

続 鱸のオンちゃん航海記

第16話 国棄て ⑤

朝獲れ魚が食べられる「めしや大磯港」

新鮮で安くて美味しい地魚が大人気に

目への相模湾でその日の朝定置網で獲れた魚介類を食材として、調理して食べさせてくれる大磯町・大磯漁港の「めしや大磯港」は、新鮮で美味しくしかも漁業者直営の食堂だけに安いとあって大人気になっています。



列ができる人気の「めしや大磯港」

大磯町漁協(加藤孝組 合長)が大磯漁港内に「めしや大磯港」を開店したのは今年四月下旬のことです。その日の朝、定置網が獲ってきた魚が食べられることから、口コミで評判となり、連日、営業開始前に長い列ができるほどです。予想以上の来客に、オープンの当初、食堂のスタッフは「てんてこ舞い」していましたが、今では、何度も来てくれるお客さんと顔なじみになり、「今日はどんな魚が食べられるの」と言葉が掛けてもらえるようになったそうです。

■ 神奈川の栽培漁業を支える ■ シリーズ①

食といのちの未来を開く 飼料開発を目指す

日本農産工業(株)水産部

アワビ用飼料の国内シェアが70%という実績を持つ日本農産工業(株)協会のアワビ種苗生産の現場でもこの餌を使用しています。同社がアワビ用飼料の販売を始めたのは昭和五十二年です。以後、「食といのちの未来を開く」を基本理念とし、より上質な肉質の魚貝類を作る飼料開発を追求してきました。そして常に進化を続けてきたのが「ノーサン印のあわび用飼料」です。

天然海藻と比べ優れた飼料効果と成長を示し、しかもアワビが食べやすい形の餌であること、飼育水中に入れても長時間餌の形を保つこと、などがこの餌の特長です。もちろん、安全性を重視して信頼できる原料だけを厳選して使用しているし、使用方法は簡単でそのまま投餌すればよく、餌用の海藻を採取するなどの面倒な作業が減り、大幅な省力化が達成できる飼料です。

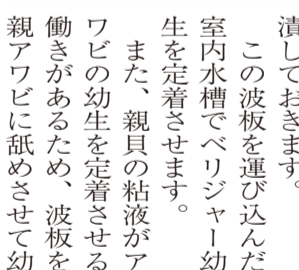
同社には、飼育環境やアワビの好みに合わせて種類の違う飼料を用意しています。さらに今年、高水温期の生残率向上に効果がある新しい飼料を開発、発売しています。また、アワビ用の初期段階の餌として、付着珪藻代替飼料の開発試験を行っています。



カサゴの稚魚を放流

青少年・少女釣りの大会。全日本磯釣連名神奈川県支部は七月二十五日、横須賀市平成町の市立海辺つり公園で、第十二回青少年・少女釣り大会を開催しました。子どもたちはキス、海タナゴ、ベラ、カサゴを対象に釣りを競いました。

青少年・少女が釣りのマナーを学び、水産資源の大切さを知ってもらおうと開催されたもので、この日の釣りの対象魚で協会が種苗生産したカサゴの稚魚二千尾を、大会に参加した親子連れなどが二台の放流台を使って放流しました。



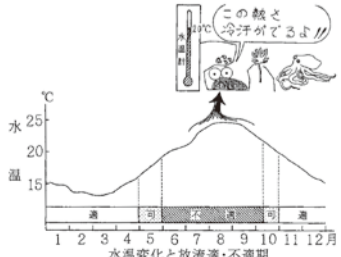
付着珪藻を培養した波板

前ぐらいから室外槽に浸漬しておきます。この波板を運び込んだ室内水槽でベリジャー幼生を定着させます。また、親貝の粘液がアワビの幼生を定着させる働きがあるため、波板を親アワビに舐めさせて幼

稚貝の育成。アワビの種苗を生産する工程で、トロコフォア・ベリジャー初期幼生を写真のようなふ化水槽に収容し、海水を僅かに

生かす。天然アワビの殻は紫色がかかった茶色をしています。ところが、人工的に生産した種苗は貝殻の色が緑色をしています。クロアワビとマダカアワビは濃い緑色、メガイアワビは薄い緑色をしています。この色彩は放流して漁獲されるまで、変わりません。

放流した時点から天然の貝殻と同様な茶色になります。海鮮料理などでアワビを食べる機会がありまして、貝殻を見てくださいます。アワビの貝殻の中心部が緑色でしたら、そのアワビは人工種苗生産した貝です。緑色から茶色に色彩が変化している箇所が天然に放流された時点を表しています。



放流は、一箇所に集中せず、分散させる必要があります。

「漁業者ねんきん」を浜の話題に

神奈川県漁業士研修会で大切さ学ぶ

神奈川県漁業士会と神奈川県水産技術センターは七月十三日、平成二十二年度漁業士研修会を開きました。特に「漁業者ねんきん」について、漁業士は各浜のリーダー的存在なので、漁業者が集まる機会があったら、その都度「ねんきん」のことを話題にしてほしい、との提案がありました。



「漁業者ねんきん」などを研修

研修会は、全国共済水産業協組連合会神奈川県事務所の藤城淳さんが「漁協共済の種目と内容について」と題して講演しました。漁業共済制度は漁業者の生活を守る重要な制度で、漁業協同組合と協力して事業を進めていると

さいばい漁業って何

⑧

(財)神奈川県栽培漁業協会 専務理事 今井利為

生の定着を促進させる方法もあります。このことから、アワビの殻が緑色になるのはクロフィルaやβカロテイン、ルチンが分離されています。

アワビの稚貝は、できるだけ、飼育池でカキ殻ホタテガイの殻、コンクリート板、樋で作ったシエルターなどの基質に付着させ、剥離をせず、人の手でアワビの稚貝に接触しない状況で放流場所まで運びたいものです。それから、稚貝は気温が二十度以下の涼しい時期を選び、乾燥しないよ



アワビふ化器

流しながら飼います。ベリジャー後期の幼生を底着させるため、付着珪藻を培養する波板を二週間

放流は、一箇所に集中せず、分散させる必要があります。

(つづく)

朝市・直販所めぐり シリーズ②

定置網で水揚げ直後の鮮魚・地ダコなどを生産者直販

「佐島のおいしい魚」で検索・佐島朝市



【アクセス】車だと、国道134号線「佐島入口」の信号を海側に曲がり、約3分で会場です。バスだと京急バスで「佐島港」下車、徒歩1分です。

- 営業日 毎月第4土曜日の午前8時から販売を始めます。
- 住所 横須賀市佐島3丁目5-1
- 問い合わせ先 横須賀市大楠漁協 046-856-4116

朝市開始直前の午前七時ごろから、その朝定置網で獲れた魚の水揚げを見るのができます。まだピチピチ跳ねる魚を直ぐに氷締めにしてお客さんに販売するの誰が見ても抜群の鮮度であることは明らかです。このほか、「佐島の地ダコ」や「湘南しらす」を獲った漁業者が販売します。七月からはサザエやアワビ、八月からはイセエビなども販売されています。



大勢のお客さんが詰めかけた会場

七月二十四日の「佐島朝市」では、サバのつめ放題やサザエのつかみ取りなどが行われ、来場者は競い合いながら挑戦していました。大楠漁協女性部はサザエの壺焼きを販売していました。また、季節の野菜や花、横須賀市の名産品なども販売し、来場者に喜ばれていました。

小田原みなとまつり

四万八千人の来場者で大賑わい

第二十四回「小田原みなとまつり」は、八月一日、小田原漁港や小田原沖の海上で開催されました。定置網でその日の朝獲れた鮮魚の販売は大人気となり、また、二十回目という節目の年の開催だったので、三千九百尾のマダイ稚魚の放流も行われました。



加藤憲一小田原市長も放流に参加

会場では鮮魚の販売のほかアジの干物づくり教室、船釣り大会、定置網見学、体験ダイビング、アユのつかみどり、海藻おしぼり、海藻教室など多彩なイベントが繰り広げられました。今年も二十回目の開催を記念し、完成まじかの小田原新港の活魚を蓄養

午前九時の開始とともに家族連れなどがぞくぞくと



稚魚の展示も人気

カサゴ稚魚を放流

再捕したら連絡を

全国豊かな海づくり推進協会は八月五日、横須賀市・猿島周辺の海にカサゴ稚魚を放流しました。



胸ビレをカットし放流するカサゴ稚魚

このカサゴ稚魚は、神奈川県栽培漁業協会が今年初めて八千尾のカサゴ稚魚の生産に成功、そのうちの三千尾を栽培漁業協会の協力で放流しました。これまでほとんど分かっていないカサゴの放流後の生態調査を行います。放流したカサゴは、今年一月にふ化し、これまで育ててきたもので、全長七〜八センチに育った稚魚に標識(胸ビレの一本を切り取りました)を付けて放流しました。全国

トラフグに標識を付けて放流

相模湾には…青色のタグ
10 東京湾には…赤色のタグ



トラフグ稚魚放流

今年も相模湾と東京湾にアンカータグを付けてトラフグの稚魚を放流しました。いづれも六月下旬に行われたもので、相模湾側は「10」(2010年)という数字を書いた青色のアンカータグを付けた合計一万三千尾のトラフグ稚魚を漁船に積み込み、横須賀市佐島と長井沖に放流しました。東京湾側は「10」という数字を書いた赤色のタグを付けた合計一万二千尾のトラフグ稚魚を横須賀市の走水と新安浦漁港、横浜のベイサイドマリナーの岸壁から放流しました。トラフグは漁業者にとっても遊漁船にとっても貴重な資源であり、稚魚放流に大きな期待が寄せられています。

編集後記

今年も神奈川県下にはマダイをはじめたくさん種類の稚魚が放流されました。そして、稚魚を放流し続けることにより資源が維持されている、ということもこれまでの調査で分かっています。しかし、畑に種を蒔く農産物とはちがひ、海の

訂正

前号(22年6月1日)1面の平成21年度財団法人神奈川県栽培漁業協会の決算について、の中の21年度収入内訳・支出内訳の表の中の数字が「14,977」とあるのは誤りで、収入内訳・支出内訳とも正しい数字は「141,977」でした。お詫びして訂正いたします。

中のことなので、目で見て確認できない悩みがあります。そんなとき役に立つのが標識放流した魚の再捕報告です。今年も神奈川の海でマダイ、トラフグ、カサゴ稚魚に標識を付けて放流しました。水産資源の動向を調べるための基礎資料にするので、「標識魚」が獲れたら報告をお願いします。



今井専務に渡邊副社長から寄付目録が

に「キスマスター2010」を開催し、参加費の一部の六万五千円を「海を豊かにするために使ってください」と協会に寄付してくれました。協会の今井利為専務は「今回の寄付金も水産種苗の生産、放流に使わせていただき、資源の増大に役立つように努力します」とお礼の言葉を述べました。同社は春に「キスマスター1」、秋に「ハギマスター」を行い、そのたびに参加者と呼び



また小さいなと思ったら……海へ戻してあげましょう。